

子育て、子育てを 応援する地域づくり



[目次]

はじめに 1

I 子ども・子育て家庭をとりまく状況 2

(1) 昨今の子ども・子育て家庭をめぐる課題 2
 (2) いじめや不登校など学校関係者との連携による支援 5
 (3) 民生委員・児童委員活動と民児協における子ども・子育て支援活動
 ～「全国モニター調査」などから～ 7
 (4) 児童委員制度創設 70 周年 全国児童委員活動強化推進方策 2017 10

II 子育て、子育てを応援する地域づくりをめざして 12

(1) 「全国児童委員活動強化推進方策 2017」の重点と具体的推進に向けて 12
 (2) 子育て、子育てを応援する地域づくりをめざして 13
 (3) これからの児童委員活動への期待 15

III 事例編 ～地域の子育て応援団をめざして 16

事例①(熊本市) 熊本市南区子育てサークル
 「子育てサークル交流会～ミニうんどうかい～」の取り組み 16
 事例②(和歌山県) 地域の子育て応援団をめざして 18
 事例③(仙台市) 子どもたちへの学習支援と居場所づくり 20
 事例④(滋賀県) コミュニティ食堂の取り組み 22
 事例⑤(香川県) 通学路の危険箇所を点検「マップウォーキング」 24

IV 資料編 26

・児童福祉法 26
 ・児童委員の活動要領 27
 ・「全国児童委員活動強化推進方策 2017」の概要
 ～子どもたちの笑顔と未来のために～ 31

はじめに

子どもの育ちや子育てをとりまく状況は、少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化の進行、共働き家庭の増加等を背景に、さまざまな課題が顕在化してきています。乳幼児とふれあう経験が乏しいまま親になる人が増えてきている一方で、身近な人びとから子育てに対する協力や助言を得られにくい状況に置かれている家庭が多いことなども指摘されています。平成30年3月、東京都目黒区で起こった虐待事件など依然深刻な状況にある児童虐待に加えて、ひきこもりや不登校、いじめ、自殺、子どもの貧困等、社会全体として対応していくべき子どもをめぐる課題は多岐にわたっています。

こうした状況のなか、児童委員、主任児童委員には、住民の最も身近な相談相手として、地域住民や関係機関・団体とあっという間の連携を図りながら、子どもや子育て家庭の支援に取り組んでいくことが期待されています。

そこで、本書（44集）は、昨年度策定した「全国児童委員活動強化推進方策2017（以下、「児童委員方策2017」）」に示されている4つの重点のうち、重点1「子どもたちの『身近なおとな』となり、地域の『子育て応援団』となる」、重点2「子育て、子育てを応援する地域づくりを進める」に焦点をあて、児童委員活動のよりいっそうの推進に向けて、各地の実践事例を交えながら、具体的な実践につなげていくための取り組みを紹介しています。

また、全民児連では、「民生委員制度創設100周年活動強化方策」および「児童委員方策2017」の具体化に向けて、「地域版 活動強化方策」の作成を呼びかけています。これは、地域の子どもや子育て家庭の実情や課題を踏まえて、関係機関・団体などと連携しながら、活動や実践に結びつけていただきたいと思っています。本書がそうした活動を生み出すための一助となれば幸いです。

終わりに本書の作成にあたりご協力をいただきました、社会福祉法人至誠学舎立川 高橋久雄常務理事および事例をご執筆いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

平成31年1月
全国民生委員児童委員連合会
会長 得能 金市